

富山大学薬学部 学生後援会

令和7年度（第28回）総会

令和7年4月8日（火） 午後1時30分より

富山大学 杉谷キャンパス 医薬イノベーションセンター 日医工オーデトリウム

次 第：

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 学部長挨拶
4. 議長選出
5. 議事
 - 5-1. 令和6年度事業報告 (p. 3)
 - 5-2. 令和6年度会計報告 (p. 12)
監査報告 (p. 14)
 - 5-3. 新役員選出 (p. 15)
 - 5-4. 令和7年度事業予定（案）審議 (p. 16)
 - 5-5. 令和7年度予算（案）審議 (p. 21)
6. その他
 - 6-1. 学部生、大学院生の研究活動 (p. 23)
7. 閉会

総会終了後、御質問・御要望などに関して自由討論

参加人数

正会員（保護者様）は 30 組参加された。

教員は、松谷薬学部長、および学内理事（令和 6 年度および令和 7 年度教職員会員）含めて 9 名参加した。

1. 開会の辞

岡田理事から、開会の挨拶がなされた。

2. 会長挨拶

和田会長から、以下の概要の挨拶がなされた。

新しく入学された学生さんの保護者のみなさまへのお祝いの言葉、および教職員理事各位への感謝の言葉を述べられた。また、学生後援会の活動について紹介された。最後に保護者・正会員のみなさまへの思いやりの言葉、そして今後の充実した学生生活に対しての願いを述べられた。

3. 学部長挨拶

松谷薬学部長から、以下の概要の挨拶がなされた。

保護者のみなさまへのお祝いの言葉、および富山大学薬学部の学生教育の現状について述べられた。特に、薬学科および創薬科学科の両学科の違いについて、入学定員、アドミッション・ポリシー、卒業・修了後の進路の観点で説明がなされた。

（正会員（保護者）のみなさまからの質問）

なし

4. 議長選出

議長として、和田会長が選出された。

5. 議事

5-1. 令和 6 年度事業報告

5-1-1. 令和 6 年度（第 27 回）総会

担当： 岡田

令和 6 年 4 月 5 日（金）の午後 1 時 30 分より、杉谷（医薬系）キャンパス医薬イノベーションセンター日医工オーデトリウムにて令和 6 年度総会を執り行いました。令和 5 年度の事業（総会、国家試験対策、TOEIC 受験支援、卒論発表会支援、サークル援助、奨学資金援助、広報、保護者懇談会、入会状況）および決算が承認されました。また令和 6 年度の正会員理事 13 名、教職員会員理事 8 名、正会員監査 1 名、教職員会員監事 1 名が承認されました。さらに令和 6 年度の事業計画案および予算案は、原案のとおり承認されました。また、理事の方より、いくつか検討事項をご提案いただきましたので、今後の検討課題として対応していくこととしました。

令和 6 年度事業報告

担当理事により、各種事業報告がなされた。

5-1-7. 課外活動に対する補助金および 5-1-8. 奨学資金援助について、田口理事がご欠席のため岡田理事が報告された。

5-1. 令和 6 年度事業報告（続き）

5-1-2. 課外教育援助①（国家試験対策）

担当：沖津

結果

薬学部 6 年制導入後の第 13 期生が令和 6 年度に最終学年を迎え、令和 7 年 2 月 22 日及び 23 日に新卒者 65 名、既卒者 9 名、及びその他（旧 4 年制卒業者・受験資格認定者）9 名が薬剤師国家試験を受験しました。先日 3 月 25 日に合格発表があり、以下は合格者数の速報値です（前々回全国合格率：69.00%，前回全国合格率：68.43%，今回全国合格率：68.85%）。

富山大学				全国			
新 卒	59 名 合格	(65 名 受験)	90.77%	6,849 名 合格	(8,061 名 受験)	84.96%	
既 卒	3 名 合格	(9 名 受験)	33.33%	2,214 名 合格	(5,039 名 受験)	43.94%	
その他	5 名 合格	(9 名 受験)	55.56%	101 名 合格	(210 名 受験)	48.10%	
計	67 名 合格	(83 名 受験)	80.72%	9,164 名 合格	(13,310 名 受験)	68.85%	

対策

令和6年度に学生後援会として、薬学科6年生（65名）および博士課程薬剤師コース4年生（5名）向けに行った国家試験受験対策は次の通りです。

- ・ 学校法人医学アカデミー薬学ゼミナール：講義(52コマ) 13日間，模擬試験(5回) 7日間
- ・ メディセレスクール社： 模擬試験（1回） 2日間

第 110 回薬剤師国家試験対策 講義・模試日程

【講習会・模擬試験】

今年度	内容	講義室
5 月 7 日(火)	ガイダンスⅠ(90 分程度)	303
5 月 11 日(土)	スタートアップ模試 (薬ゼミ)	403
7 月 20、21 日(土・日)	ステップアップ模試 (薬ゼミ)	403
9 月 19、20 日(木・金)	全国統一模擬試験Ⅰ(薬ゼミ)	403
11 月 11 日(月)	ガイダンスⅡ+対策講義(治療)	看護 10
11 月 14 日(木)	対策講義(化学)	看護 10
11 月 18 日(月)	対策講義(衛生)	看護 10
11 月 21 日(木)	対策講義(物理)	看護 10

11月25日(月)	対策講義(実務)	看護 10
11月28日(木)	対策講義(薬剤)	看護 10
12月2日(月)	対策講義(生物)	看護 10
12月5日(木)	対策講義(薬理)	看護 10
12月9日(月)	対策講義(法規)	看護 10
12月12、13日(木・金)	全国統一模擬試験Ⅱ(薬ゼミ)	看護 10
12月16日(月)	弱点克服講義(薬剤)	看護 10
12月19日(木)	弱点克服講義(実務)	看護 10
1月6、7日(月・火)	全国統一模擬試験(メディセレ)	看護 10
1月9日(木)	弱点克服講義(治療)	看護 10
1月14日(火)	弱点克服講義(薬理)	看護 10
1月20、21日(月・火)	全国統一模擬試験Ⅲ(薬ゼミ)	看護 10
2月22、23日(土・日)	第110回薬剤師国家試験	北陸大学

費用

- ・薬学ゼミナール（講義 52 コマおよび模擬試験 5 回を含む一式）： 3,444,480 円（税込）
 - ・メディセレスクール（模擬試験 1 回）： 292,600 円（税込）
- 総計： 3,737,080 円（税込）

国試対策の総額は 3,737,080 円でした。このうち、一部模試受験のみの 1 名の負担額 13,640 円、および講習会と一部模試受験のみの 1 名の負担額 44,640 円（この 2 名は昨年度受講したため、学生後援会からの援助は無い）を差し引いた 3,678,800 円を 68 名の受講者で負担し、一人あたり 54,100 円となりました。学生後援会入会の薬学部 6 年生に対しては、学生後援会より一人あたり 16,100 円を支援し、各受講者から 38,000 円/名を集金しました。また、博士後期課程 5 名は学生後援会からの援助は無いため、54,100 円/名を集金しました。これに加え、各受講者は講義用テキストを別途購入いたしました。

その他

2月22、23日に北陸大学太陽が丘キャンパスで行われた国家試験では、学生のほとんどが近畿日本ツーリストによるツアー（2泊3日）に参加し、金沢駅近くのホテルに宿泊して受験しました（旅行代金は一人あたり 43,000 円）。なおツアーに関しては、学生後援会は直接関与していません。

5-1. 令和6年度事業報告（続き）

5-1-3. 課外教育援助②（TOEIC 支援）

担当：千葉

概要：TOEIC(国際コミュニケーション英語能力テスト)は英語によるコミュニケーション能力を
検定する試験であり、大学院入試に用いられる他、企業が採用の際に参考にする場合があります。
学生後援会では、薬学部生（薬学科・創薬科学科双方）を対象としたTOEIC講習会・
IPテスト（杉谷キャンパスにて開催）などを、大学の英語教育にプラスして企画・実施して
います。そして創薬科学科の受講生・受験生に対してその費用を支援しています。

活動報告（令和6年度）

1) 創薬科学科1,2年生へのTOEIC最新テキスト配布（令和4年度開始）

- ・早期からTOEIC対策に取り組めるよう、学生後援会入会済の創薬科学科1,2年生全員
に、最新の公式問題集（公式TOEIC Listening & Reading 問題集10）を配布しました。

経費： 学生後援会による支援（合計247,500円）： 問題集10（単価3,300円） 75名分

（備考） テキストは創薬科学科1,2年生の入会者数+ α として75部を発注し、未入会者への
入会を呼びかけつつ配布しました。最終的に未入会者、および休学・退学者は配布の
対象外とし、6冊の残余が生じました。

2) TOEIC講習会（令和6年9月30日（月） 9:00～15:00）

- ・外部講師（2講師，イーオン社）にTOEIC対策講義を依頼し、入門&スコアアップコ
ースの2クラス制で実施しました。令和5年度と同様に、Zoomを用いてオンラインで
実施しました。
- ・2クラスとも創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援しました。

実施状況：参加者11名（支援対象の学生11名、支援対象外0名）

(1) 入門コース：5名 創薬科学科2年：0名，3年：4名，4年：1名

使用教材：公式TOEIC Listening & Reading 問題集 10

(2) スコアアップコース：6名 創薬科学科2年：4名，3年：2名，4年：0名

使用教材：公式TOEIC Listening & Reading 問題集 9*

（*昨年使用したテキストを利用することで、昨年入門コースを受講した
学生が負担金なくスコアアップコースを受講できるように配慮した）

経費： 1) 学生後援会による支援（合計229,680円）

（内訳）

入門コース授業料	5時間	22,000円/時間	金額 110,000円
添削費	5名	880円/名	金額 4,400円
スコアアップコース授業料	5時間	22,000円/時間	金額 110,000円
追加注文した教材費（問題集）	0冊	3,300円/冊	金額 0円
添削費	6名	880円/名	金額 5,280円

2) 支援対象外参加者の参加費等（令和6年度は該当なし）

講習会終了直後にメールにてアンケートを実施しました。（回答数：11名中6名）

1. 満足度：大変満足 2名，おおよそ満足 3名，どちらでもない 1名，不満 0名
2. 難易度：非常に易しい 1名，少々易しい 0名，ちょうどよい4名，少々難しい 1名，難しい 0名
3. 開催時期：適切 6名，他の時期がよい 0名
4. 講習会の時間：長すぎる 0名，少々長い3名，ちょうどよい 2名，少々短い 1名
5. 次回の参加希望：入門コース 0名，スコアアップコース 2名，十分だ 4名
6. 意見等：
 - ・TOEICはとく速さが肝心なので、全部完璧に解こうとしないで、時間がかかりそうなものや難しい問題は諦めることも大事なのだと分かりました。
 - ・今回の講義各パートごとのポイントを抑えることができたので非常に良かった。
 - ・大学院入試の英語の満点ボーダーが730以上であるので、その点数に向けたコースがあると嬉しく思いました。
 - ・実際の問題で演習する時間があまりなかったので、その時間があれば良いかなと思いました。

3) TOEIC-IPテスト 令和6年11月28日（木：予備・調整日）14：00～16：00実施

- ・薬学部の両学科対象で杉谷キャンパスにて実施しています。
- ・入会済みの創薬科学科学生に対して、受験料3,455円を2回分まで支援しています。
- ・令和6年度の支援対象人数：23名（創薬科学科2年：2名，3年：21名，4年：0名）

経費： 学生後援会による支援（合計79,465円）：受験料 3,455円 × 23名

5-1. 令和6年度事業報告（続き）

5-1-4. 課外教育援助③ （学部1年生対象医療学研修支援）

担当：岡田

令和6年5月11日（土）、医学部・薬学部合同にて学部1年次生を対象とした医療学研修が実施されました。立山黒部アルペンルートの最高地点である室堂にて、学生さん達は医療的グループ課題に取り組みました。優秀なグループには景品が与えられ、その景品に関わる経費を医学部学生後援会と折半して提供した。なお、各学部の学生数を考慮し、薬学部学生後援会からは4,791円を提供しました。

5-1-5. 課外教育援助④ （卒論発表会支援）

担当：岡田

令和7年2月14日（金）、薬学部4年次生を対象に令和6年度卒業研究発表会が行われました。今年度も昨年度と同様に、杉谷キャンパス体育館において対面形式にて開催となりました。創薬科学科の学生さんは約2年間取り組んだ卒業研究の集大成を、薬学科の学生さんは授業と臨床前実習などと併せて行った卒業研究の中間報告を、ポスターにまとめて発表しました。掲示されたポスターの前で、4年生の皆さんは教員および学部生・大学院生からの質問に対して回答し、活発な討論が繰り広げられました。また教員、大学院生、学部生（3年次生以上）による投票が行われ、創薬科学科生からは卒業論文最優秀発表賞1名と卒業論文優秀発表賞6名が、薬学科生からは優秀ポスター発表賞6名が選ばれ、賞状と副賞（薬学科生は賞状のみ）が贈られました。学生後援会では、課外教育支援の一環としてこれらの賞の経費を提供しました。

【令和6年度－決算】

経費	金額	内訳
1. 賞状・ビニール袋（靴入）	3,111 円	
2. 図書カード		
卒業論文最優秀発表賞	10,000 円	1 件×10,000 円
卒業論文優秀発表賞	30,000 円	6 件×5,000 円
合計	43,111 円	

5-1. 令和 6 年度事業報告（続き）

5-1-6. 学生教育推進費（学生実習援助）

担当：岡田・沖津（実施責任者）

1) 化学実習室の給水管の修理

令和 3 年度に、学生実習で薬学部生全員が利用する化学実習室の実験台流し（SUS ステンレス製）が経年劣化により腐食し、漏水・漏電が発生しました。令和 5 年度の本会の事業にて、実験台流しの交換修理を行いました。しかし、一部の実験台で水漏れが発生しており、給水管の緊急修理が必要となったため、追加での修理に対する援助の要望が有りました。

そこで学内理事の先生方と協議し、援助することにいたしました。本来であれば、会長や副会長をはじめ、正会員の理事の皆様のご承諾を得るべきところではございましたが、予算に対して少額であることや、実習実施に間に合わせるためには早急な修理を必要としたため、事後報告となりましたこと、お詫び申し上げます。

修理の詳細は以下のとおりです。

- ・修理実施日：令和 6 年 7 月 10 日（水）
- ・修理内容：給水管の修理
- ・援助額：8,800 円

2) デジタル融点測定器の購入

薬学部学生が受けている化学系実習において使用している 8 台の融点測定器は、すべて水銀温度計を用いています。しかし、水銀汚染防止法に対応するため、現在使用している融点測定器を可及的速やかに処分し、「水銀不使用」のデジタル融点測定器に切り替える必要が生じていました。

本件につきまして、令和 6 年度の総会にてご承諾を得てデジタル融点測定器を購入いたしました。詳細は以下のとおりです。

- ・購入日：令和 6 年 7 月 23 日（火）
- ・購入物品：融点測定器 ATM-02, アズワン（右図）
- ・援助額：243,298 円 (121,649 円 x 2 台)



5-1. 令和 6 年度事業報告（続き）

5-1-7. 課外活動に対する補助金

担当：田口

令和 6 年度の課外活動に対する補助金を以下のように決定し支給しました。

5-1-8. 奨学資金援助

担当：田口

令和 6 年度の希望はありませんでした。これまでに貸与した方は 22 名です。

5-1. 令和 6 年度事業報告（続き）

5-1-9. 広報

担当：李

薬学部学生後援会のホームページで情報を公開しております。ホームページは総会や保護者懇談会の報告など逐次アップデートし、内容の充実を図っております。ホームページは令和 3 年度にリニューアルされております。ご覧いただければ幸いです。

（新）富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-1-10. 保護者懇談会

担当：岡田

令和 6 年 10 月 21 日（土）の午後 2 時より杉谷キャンパスにおける大学祭（医学薬学祭）の開催期間に合わせて、杉谷キャンパス医薬イノベーションセンター日医工オーデトリウムにて開催しました。

5-1-11. 入会状況

担当：岡田

令和 6 年度の新規加入者は 104 名（新入生薬学科 70 名中 66 名、新入生創薬科学科 39 名中 36 名、在学生薬学科 2 名、在学生創薬科学科 0 名）でした（新入生：2024.12.1～2025.3.31、在学生：2024.4.1～2025.3.31）。また、令和 7 年度入学者の入会を受け付けました。未入会の方には、総会および保護者懇談会の案内状送付時および 3 年次以降に研究室配属が決定した後に、本会の趣旨をお伝えしつつ入会して頂くようお願いしております。

（参考）令和 6 年 11 月 – 令和 7 年 3 月入学試験合格者

特別選抜入学者：薬 40 名 創薬 3 名

前期合格者：薬 40 名 創薬 34 名

後期合格者：薬 6 名 創薬 6 名

5-2. 令和 6 年度会計報告

担当：横山

以下、横山理事から、令和 6 年度収支決算について報告がなされた。李理事から、2024 年 3 月 6 日に監査がなされた旨も報告された。会計報告について特に質問はなかった。

担当：池田

令和 6 年度富山大学薬学部学生後援会の収支決算について、次の通り報告致します。

(自 令和 6 年 3 月 1 日 ～ 令和 7 年 2 月 28 日)

収支決算報告書

表 1. 学生後援会本会計収支報告

<略>

表 2. 緊急対策会計収支報告

<略>

表 3. 奨学資金会計収支報告

<略>

収支監査報告

<略>

5-3. 新役員の選出

担当：藤井

令和7年度役員名簿

理事（正会員）

会 長：	和田 恭典	(薬学科)	副会長：	深山 敦子	(薬学科)
理 事：	大島 健一	(薬学科)	理 事：	<u>中野渡 志穂</u>	(薬学科)
理 事：	飯島 弥生	(薬学科)	理 事：	鶴居 正美	(薬学科)
理 事：	本田 絵里	(薬学科)	理 事：	齋藤 正樹	(薬学科)
理 事：	大野 秀棋	(創薬科学科)	理 事：	<u>稲垣 喜文</u>	(薬学科)
理 事：	松浦 智早	(創薬科学科)	理 事：	<u>橋本 秀隆</u>	(薬学科)
理 事：	<u>葛西 禎之</u>	(創薬科学科)			

理事（教職員会員）

副会長：	松谷 裕二	(薬学部長)
庶 務：	藤井 拓人	(薬物生理学)
入会・人事：	<u>大石 雄基</u>	(薬化学)
課外教育 国家試験：	李 貞範	(植物機能科学)
課外教育 TOEIC 講習：	<u>横瀬 淳</u>	(薬物治療学)
課外活動・奨学資金：	<u>恒枝 宏史</u>	(臨床薬品作用学)
会 計：	横山 悟	(がん細胞生物学)
広 報：	<u>山田 強</u>	(薬品製造学)

監事

監事（正会員）	<u>高橋 敦</u>	(薬学科)
監事（教職員会員）	<u>山田 強</u>	(薬品製造学)

(下線は新任)

学内外の新理事、監事について、承認された。

5-4. 令和7年度事業予定（案）審議

5-4-1. 課外教育援助①（国家試験対策支援、薬学科6年生対象）

担当：李

令和7年度は、新カリキュラム導入後の第15期生が最終学年となり、来春に薬剤師国家試験を受験することとなります。学生の国家試験対策サポートとして、薬学科6年生を対象に以下の内容を予定しております。

令和7年	5月頃	国家試験についてのガイダンス
	5月末頃	スタートアップ模試（薬学ゼミナール）
	7月末頃	ステップアップ模試（薬学ゼミナール）
	9月頃	全国統一模擬試験Ⅰ（薬学ゼミナール）
	11月頃	予備校講師によるガイダンス
	11～12月頃	予備校講師による講習会
	12月中旬頃	全国統一模擬試験Ⅱ（薬学ゼミナール）
令和8年	1月上旬頃	模擬試験（メディセレスクール）
	1月中旬頃	予備校講師による講習会
	1月下旬頃	全国統一模擬試験Ⅲ（薬学ゼミナール）
	2月下旬	第111回薬剤師国家試験

令和6年度の第110回国家試験は、全体としての難易度は第109回とほぼ同程度となりました。「必須問題」では、衛生や薬剤に関する図やグラフの問題が出題されましたが、基本的事項に関する問題が多く、得点しやすい内容でした。「理論問題」では、科目間の繋がりを考えさせる問題が継続して出題され、新傾向の問題が増加したため難易度がやや高くなりました。「実践問題」は、薬理や病態・薬物治療との繋がりを意識する複合的な問題が多いものの、リード文からヒントを得やすかったため、難易度は例年どおりとなりました。

特に、実務において必要とされる知識を問う問題が多く見られ、現場での実践力が試される内容でした。例えば、吸入器や皮下注ペンの使用法、血糖測定器の使い方、正しい手袋の脱着、処方変更の意図、個別最適化医療のための検査値などが出題されました。

全体として、受験生が基本的な知識をしっかりと身につけていれば、得点しやすい試験だったと言えます。したがって、学生には早期から地力を付けて試験に臨むよう勧めていきます。また5年生時に行われる長期実務実習で得られる知識の重要性についても周知し、国家試験につながることを意識して実務実習に臨むよう指導する予定です。令和7年度の国家試験対策は、過去の対策を踏襲し、より充実した対策が行えるよう努めてまいります。また、試験情報も随時受験生へ伝えていく予定です。

5-4. 令和7年度事業予定（案）審議（続き）

5-4-2. 課外教育援助②（TOEIC 支援）

担当：横瀬

令和7年度は、以下のようにTOEIC講習会・TOEIC-IPテストの企画・支援を行う予定です。

活動予定

1) 創薬科学科1, 2年生へのTOEIC最新テキスト配布

- ・ 学生後援会入会済の創薬科学科1, 2年生全員に、最新の公式問題集（公式TOEIC Listening & Reading 問題集11）を配布予定です。

2) TOEIC講習会（令和7年8 or 9 or 11月のいずれかを予定）

- ・ 外部講師（2講師、イーオン社）による入門＆スコアアップコースの2クラス制で実施します。本年度は対面による実施も含めて検討します。使用教材については、入門コースは最新の問題集11、スコアアップコースは令和6年度に入門コースで使用した問題集10の予定です。
- ・ 創薬科学科学生の参加費等を学生後援会から支援します。
- ・ 平成30年度より、学部2年生も受講（支援）対象としています。TOEIC活動周知を徹底して、参加者増（特に学部2年生）を目指します。

3) TOEIC-IPテスト（薬学部対象：令和7年11月 杉谷キャンパスにて実施予定）

- ・ 学生後援会から、創薬科学科学生の受験費（2回まで）を支援します。

* TOEIC対策についての周知

- ・ 年度始めのガイダンスにて、両学科学生への周知徹底を図ります。
- ・ 必修科目の授業後にアナウンスを行うなど、効果的な周知を行います。

* 今後の課題→参加者数増

- ・ 大学院入試の出願時に外部英語試験（TOEIC等）のスコアが必要となるため、TOEICの対策を早期に行い、スコアアップする重要性を周知します（大学院入試ではTOEIC730点を満点と換算します）。
- ・ 薬学科の学生も製薬企業等への就職や進学の際、多くの場合においてTOEICスコアが必要なため、ガイダンス等で周知し、TOEIC対策への積極的な参加を促します。
- ・ 学生にとって受講、受験しやすい日程を考慮して参加者増に努めます。

5-4. 令和 7 年度事業予定（案）審議(続き)

5-4-3. 課外教育援助③（卒論発表会支援）

担当：藤井

令和 8 年 2 月に薬学部 4 年次生を対象として開催される卒業研究発表会において、例年通り援助を行います。

5-4-4. 学生教育推進費（学生実習援助）

担当：藤井

本年度は、学生実習にて薬学部生全員が利用する、卓上型打錠機を修理する予定です。

経緯

現在、薬学部学生が受けている医療系実習において使用している卓上型打錠機（PICCOLA；エステックエンジニアリング）が故障し、製剤実習に使用する錠剤が作製できない状況です。本学において代替できる打錠機が無いことから、修理する必要があります。



見積もり額 (2024 年 10 月時点)

333,300 円

5-4-5. 課外活動援助

担当：恒枝

例年通り、各課外活動団体からの申請がありましたら、薬学部学生の所属数に基づいて、既定の範囲内で援助を行います。

5-4-6. 奨学資金援助

担当：恒枝

新たに奨学資金援助を希望する者には、返還計画の遵守を徹底した上で奨学援助金の貸与を行う予定です。

5-4-7. 広報活動

担当：山田

薬学部ホームページも活用してリニューアルした学生後援会のホームページを紹介しつつ、引き続きホームページでの案内を中心として後援会活動の報告等を活発に行います。

(新) 富山大学薬学部学生後援会ホームページ

<http://www.pha.u-toyama.ac.jp/koenkai/>



5-4-8. 保護者懇談会の開催

担当：藤井

杉谷キャンパスにおける大学祭(医学薬学祭)の開催期間に合わせて、令和7年10月18日(土)に開催を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

5-4-9. 令和8年度総会の開催

担当：藤井

令和8年度の入学式に合わせて、総会を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

以上、令和 7 年度事業計画が各担当より説明された。5-4-7. 広報活動については、クラス担任のため不在の山田理事に変わり、前年度広報担当の李理事がご説明された。全て原案通り承認された。また、5-4-8. 保護者懇談会の開催について、和田会長より、本年度の会では、薬学部教員による研究紹介を行うことについての補足説明があった。

5-5. 令和 7 年度予算（案）審議

担当：横山

表 4. 学生後援会本会計予算（案）

<略>

表 5. 緊急対策会計予算（案）

<略>

表 6. 奨学資金会計予算（案）

<略>

以上、令和 7 年度予算案が、原案通り承認された。

6. その他

6-1. 学部生、大学院生の研究活動

担当：藤井

学会での受賞等（薬学部同窓会誌「遠久朶」第 102 号（令和 7 年 2 月発刊）より抜粋、学年は受賞時）

- 卒業論文最優秀発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
平栗 鈴子（創薬科学科 4 年；病態制御薬理学・臨床薬品作用学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
石井 雄翔（創薬科学科 4 年；神経機能学領域）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
岩田 千恵梨（創薬科学科 4 年；分子細胞機能学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
東山 綾花（創薬科学科 4 年；神経機能学領域）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
古瀬 彩理紗（創薬科学科 4 年；製剤設計学研究室）
- 卒業論文優秀発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
山本 涼香（創薬科学科 4 年；附属病院薬剤部研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
伊藤 衣理（薬学科 4 年；複雑系解析分野）
- 優秀ポスター発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
梅澤 光翼（薬学科 4 年；分子合成化学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
遠藤 幸作（薬学科 4 年；薬化学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
冲野 友香（薬学科 4 年；生体界面化学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
末上 亜理沙（薬学科 4 年；神経機能学領域）
- 優秀ポスター発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
高橋 このみ（薬学科 4 年；病態制御薬理学・臨床薬品作用学研究室）
- 優秀ポスター発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
深山 怜華（薬学科 4 年；複雑系解析分野）

- 優秀ポスター発表賞（令和 5 年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会） 令和 6 年 2 月
和田 悠希 （薬学科 4 年；薬化学研究室）
- 学長表彰（令和 5 年度富山大学大学院修了式） 令和 6 年 3 月
宮西 肇 （博士後期課程 3 年；薬物治療学研究室）
- 学長表彰（令和 5 年度富山大学大学院修了式） 令和 6 年 3 月
山田 泰成 （博士前期課程 2 年；複雑系解析分野）
- 学長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
日江井 花菜 （薬学部 6 年；天然物創薬学領域）
- 学長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
荒木田 優輝 （創薬科学科 4 年；薬物治療学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
筏井 佳奈子 （薬学部 6 年；生体界面化学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
和泉 勇輝 （薬学科 6 年；分子神経生物学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
近藤 有沙 （薬学科 6 年；がん細胞生物学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
清水端 恭典 （薬学科 6 年；薬物生理学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
青山 音哉 （創薬科学科 4 年；未病分野）
- 薬学部長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
石塚 葉奈 （創薬科学科 4 年；がん細胞生物学研究室）
- 薬学部長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
伊藤 菜々羽 （創薬科学科 4 年；附属病院薬剤部研究室）
- 薬学部長表彰（令和 5 年度卒業式） 令和 6 年 3 月
田中 陸登 （創薬科学科 4 年；薬化学研究室）
- 学生優秀発表賞（ポスター発表の部）（日本薬学会第 144 年会） 令和 6 年 3 月
佐藤 綾香 （博士後期課程 1 年；分子細胞機能学研究室）
- 学生優秀発表賞（ポスター発表の部）（日本薬学会第 144 年会） 令和 6 年 3 月
北村 文乃 （博士前期課程 2 年；薬品製造学研究室）

- 学生優秀発表賞（ポスター発表の部）（日本薬学会第 144 年会） 令和 6 年 3 月
中島 海斗 （博士前期課程 2 年；薬品製造学研究室）
- 学生優秀発表賞（ポスター発表の部）（日本薬学会第 144 年会） 令和 6 年 3 月
尾山 雅弥 （博士前期課程 1 年；薬品製造学研究室）
- 学生優秀発表賞（ポスター発表の部）（日本薬学会第 144 年会） 令和 6 年 3 月
大槻 葵 （薬学科 6 年；生体認識化学研究室）
- 学生優秀発表賞（ポスター発表の部）（日本薬学会第 144 年会） 令和 6 年 3 月
山下 息吹 （薬学科 6 年；生体界面化学研究室）
- JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2024: 35th World Congress Collegium International
Neuro-Psychopharmacology 令和 6 年 5 月
徳竹 伯洸 （博士後期課程 2 年；薬物治療学研究室）
- JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2024: 35th World Congress Collegium International
Neuro-Psychopharmacology 令和 6 年 5 月
鈴木 清流 （博士前期課程 2 年；薬物治療学研究室）
- JSNP Excellent Presentation Award for CINP 2024: 35th World Congress Collegium International
Neuro-Psychopharmacology 令和 6 年 5 月
荒木田 優輝 （博士前期課程 1 年；薬物治療学研究室）
- The Student Encouragement Award (35th World Congress Collegium International
Neuro-Psychopharmacology) 令和 6 年 5 月
徳竹 伯洸 （博士後期課程 2 年；薬物治療学研究室）
- 学生優秀発表賞（第 24 回 Pharmaco-Hematology シンポジウム） 令和 6 年 6 月
大沼 逸美 （博士後期課程 2 年；がん細胞生物学研究室）
- 優秀ポスター賞（第 21 回ホスト・ゲスト超分子化学シンポジウム） 令和 6 年 6 月
西沖 航平 （博士後期課程 3 年；薬化学研究室）
- 優秀発表賞（第 33 回日本がん転移学会学術集会・総会） 令和 6 年 6 月
山口 叶大 （博士後期課程 1 年；生体防御学領域）
- 優秀発表賞（第 33 回日本がん転移学会学術集会・総会） 令和 6 年 6 月
坂野上 拓 （博士前期課程 1 年；生体防御学領域）
- 優秀口頭発表賞（次世代を担う若手のための創薬・医療薬理シンポジウム 2024） 令和 6 年 8 月
徳竹 伯洸 （博士後期課程 2 年；薬物治療学研究室）
- 優秀発表賞（口頭発表の部）（第 41 回和漢医薬学会学術大会） 令和 6 年 8 月
金田 みづほ （薬学科 6 年；神経機能学領域）

- 優秀発表賞（ポスター発表の部）（第 41 回和漢医薬学会学術大会） 令和 6 年 8 月
山口 叶大 （博士後期課程 1 年；生体防御学領域）
- 優秀発表賞（ポスター発表の部）（第 41 回和漢医薬学会学術大会） 令和 6 年 8 月
平石 亞希 （博士前期課程 2 年；未病分野）
- 若手最優秀演題賞（第 98 回日本糖尿病学会中部地方会） 令和 6 年 9 月
高森 華月 （薬学科 6 年； 病態制御薬理学・臨床薬品作用学研究室）
- 優秀発表賞（口頭）（2024 年度有機合成化学北陸セミナー） 令和 6 年 9 月
山本 こみち （博士前期課程 2 年；薬化学研究室）
- 優秀発表賞（ポスター）（2024 年度有機合成化学北陸セミナー） 令和 6 年 9 月
西沖 航平 （博士後期課程 3 年；薬化学研究室）
- 優秀発表賞（ポスター）（2024 年度有機合成化学北陸セミナー） 令和 6 年 9 月
北村 文乃 （博士前期課程 2 年；薬品製造学研究室）
- 優秀発表賞（ポスター）（2024 年度有機合成化学北陸セミナー） 令和 6 年 9 月
岩間 知輝 （創薬科学科 4 年；薬品製造学研究室）
- 優秀発表賞（ポスター）（2024 年度有機合成化学北陸セミナー） 令和 6 年 9 月
小山 彩保理 （博士前期課程 1 年；分子合成化学研究室）
- 優秀発表賞（ポスター）（2024 年度有機合成化学北陸セミナー） 令和 6 年 9 月
寛 和己 （薬学科 6 年；薬化学研究室）
- 若手研究者海外発表支援事業（26th North American ISSX Meeting/日本薬物動態学会第 39 回年会） 令和 6 年 9 月
大小原 清貴 （博士後期課程 2 年；薬剤学研究室）
- 優秀発表者賞（第 45 回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム） 令和 6 年 10 月
加藤 杏南 （博士前期課程 2 年；生体界面化学研究室）
- 優秀ポスター賞（第 86 回日本血液学会学術集会） 令和 6 年 10 月
新澤 結 （博士後期課程 3 年；生体防御学領域）
- レーザー医学会総会賞（第 45 回日本レーザー医学会） 令和 6 年 11 月
石橋 直也 （博士後期課程 3 年；応用薬理学研究室）
- 若手優秀発表賞（第 97 回日本生化学会大会） 令和 6 年 11 月
伊藤 衣理 （薬学科 5 年；複雑系解析分野）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 136 回例会） 令和 6 年 11 月
篠崎 友亮 （博士後期課程 3 年；薬剤学研究室）

- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 136 回例会） 令和 6 年 11 月
加藤 杏南 （博士前期課程 2 年：生体界面化学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 136 回例会） 令和 6 年 11 月
鈴木 清流 （博士前期課程 2 年；薬物治療学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 136 回例会） 令和 6 年 11 月
山本 こみち （博士前期課程 2 年：薬化学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 136 回例会） 令和 6 年 11 月
石塚 葉奈 （博士前期課程 1 年：がん細胞生物学的研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 136 回例会） 令和 6 年 11 月
鈴木 綾乃 （薬学科 6 年；分子細胞機能学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 136 回例会） 令和 6 年 11 月
瀬岡 光 （薬学科 6 年；応用薬理学研究室）
- 学生優秀発表賞（日本薬学会北陸支部 136 回例会） 令和 6 年 11 月
山賀 有華 （薬学科 5 年；応用薬理学研究室）

医薬学図書館の冷暖房についての要望書について

和田会長より、医薬学図書館の冷暖房の使用時期に関する要望書を提出することについてご提案があり、正会員理事に一任することで承認された。

会場からのご質問・ご意見について

なし

総会終了後

希望者を対象に薬学部施設の見学会が実施された。3つの小グループに分かれ、横山理事、藤井理事および恒枝理事による学内ツアーが行われた。

なお、民族薬物資料館のご紹介は本資料館の館長である森田先生に行って頂き、臨床前実習・実習室は新田先生が、薬用植物園は李理事が紹介された。